

林野火災注意報・警報の運用

市では1月1日から、「林野火災注意報・警報」の運用が始まりました。1月～5月の期間に、下記の基準に該当すると、林野火災注意報・警報が発令され、たき火や喫煙などの火の使用が制限されます（下記参照）。なお、林野火災注意報発令時は**努力義務**、林野火災警報発令時は**義務**です。

【発令基準】

林野火災注意報

- 以下のいずれかに該当する場合
- ▶ 前3日間の合計降水量が1mmかつ前30日間の合計降水量が30mm以下
 - ▶ 前3日間の合計降水量が1mmかつ乾燥注意報が発令



林野火災警報

【制限される行為】

発令中は、以下のような火の使用が制限されます。

- ▶ 山林や原野などでの火入れ
- ▶ 花火などの煙火
- ▶ 屋外でのたき火など
- ▶ ガソリンなどの引火性・爆発性が高いものや、紙くず・木くずなどの燃えやすいものの近くでの喫煙
- ▶ 山林や原野など、火災の危険が高い区域内での喫煙



【林野火災注意報・警報の情報提供】

「林野火災注意報・警報」の発令は、防災行政無線や市情報メール（消防情報）、LINE などでお知らせします（解除は市情報メール・LINE でお知らせします）。この機会に登録をお願いします。



市公式 LINE



市情報メール

火気を使用する際の注意

「林野火災注意報・警報」の発令にかかわらず、たき火などをする場合は、消火用水や消火器などを事前に用意し、二人以上で火を管理するなど、周囲に火が燃え移らないように対策をしましょう。

また、バーベキューや田畑での稲わらの焼却など、屋外で火や多量の煙を出す場合は、事前に「火災とまぎわらしい煙又は火災を発する恐れのある行為の届出」を近くの消防署に提出してください。届出用紙は、市ウェブサイトからダウンロードすることができます。



消防長のメッセージ

市では、平成14年4月に大規模林野火災が発生しました。「林野火災注意報・警報」は、あのような火災を繰り返さないために、警戒意識を高める重要な情報です。

過去の被害や、全国各地で発生している甚大な林野火災の被害を教訓に、林野火災注意報・警報の発令時は、火の取扱の制限にご協力をお願いします。「林野火災ゼロ」を市全体で目指していきましょう。



会津浩樹・消防長

未然に防ぐ 林野火災

火災予防条例の一部が改正され、1月1日から林野火災の予防を目的とした「林野火災注意報・警報」の運用が始まりました。その詳細な内容や、林野火災を防ぐためのポイントなどを紹介します。

詳細 予防課 ☎ 058-382-3137

甚大な被害をもたらす林野火災

林野火災は、ひとたび発生すると、乾燥や風の影響で急速に燃え広がります。また、消火活動が困難な場所が発生することが多いため、鎮火までに時間がかかり、被害が大きくなります。その結果、森林資源の焼失や、土砂災害など、甚大な被害をもたらします。

■国内で発生した大規模林野火災

昨年2月、岩手県大船渡市で大規模な火災が発生しました。記録的な少雨による発生日前後の乾燥、強風、地形などの影響により、火災は急激に拡大しました。最終的な延焼範囲は3370ha。約2100人が出動した日もあるなど、消火活動は約1カ月間にわたり行われました。

その後も、岡山県岡山市、愛媛県今治市など、全国で大きな林野火災が発生しました。

■市内で発生した林野火災



平成14年4月、岐阜市芥見で発生した火災が各務原市の権現山に燃え移り、岐阜県では過去最大規模の林野火災となりました。消防職員や消防団員のほか、航空自衛隊、近隣市町からの応援職員などが出動し、ヘリコプ

ターによる空からの消火など、懸命な消火活動が行われ、翌日に鎮火しました。

この火災では、蘇原持田町、蘇原清住町、東山、須衛町1丁目の1073世帯3357人を対象に、避難勧告が出されました。蘇原第一小学校ほか6か所の避難所が開設され、多くの市民が避難所で一夜を明かしました。

■林野火災の発生原因

降水量が少なく、空気や山林の地表、落ち葉などが乾燥する1月から5月にかけては、林野火災の発生件数が特に多くなります。

そして、出火原因の多くは、たき火や火入れ、たばこの不始末などの人的要因です。そのため、一人一人が火の取扱に注意することで、林野火災を防ぐことができます。

林野火災の出火原因
(令和2年～6年の平均)
出典：総務省消防庁

